

南海トラフ巨大地震にそなえて

1. 「南海トラフ巨大地震」

日本は、地震がとても多い国です。2011年3月11日に、東北地方で大きい地震と津波がありました。近い将来、西は四国沖から東は駿河湾内までの広い範囲で、同じように大きい地震が起きるかもしれません。この地震のことを「南海トラフ巨大地震」と呼んでいます。

静岡には、これまで、100年から150年に1回、大きな地震がありました。最後の大きな地震は1854年にありました。そのあと160年以上、大きな地震がありません。ですから、大きな地震は、いつ、どこで起きるかわかりません。

では、地震は、なぜ起こるのでしょうか。地球の表面には、たくさんのプレートがあります。プレートとは、堅い板のことです。それぞれのプレートがぶつかったり、地球の中に沈んだりします。その動きで地震が起こります。

日本のまわりには4つのプレートがあります。「太平洋プレート」、「ユーラシアプレート」、「フィリピン海プレート」、「北米プレート」です。静岡県の地下で、この4つのプレートがくっついています。そして、海のプレートに陸のプレートが、毎年、少しずつ引きずり込まれています。お互いのプレートでエネルギーが少しずつたまります。たまったエネルギーが、もとに戻ろうとして地震が起こります。